

平成 21 年度（4-9 月期）

事業報告書



公益財団法人 足立区生涯学習振興公社

目 次

公社経営方針	1
寄附行為別事業体系図	2
事業区分別事業計画	4
公社概要	22
組織図	22

公社経営方針

平成21年度は、公社にとって事業内容を大きく変える年である。これまでの指定管理者受託施設を中心とした生涯学習機会の提供事業を民間企業に引継ぐこととなった。一方、足立区の推進する「あだち放課後子ども教室」事業の支援業務を受託して、その舞台となる小学校を中心に自主事業として体験講座を実施するとともに、地域活動の支援へと主軸事業を移すこととした。すなわち、区の生涯学習推進体制の中での公社の役割を見直し、「施設活用型」の事業展開から「地域ネットワーク型」事業推進の担い手へと役割を移行することとなり、新たな事業分野の開拓へとその一歩を踏み出すこととした。

また、公益法人制度改革への対応も課題となっている。

そこで平成21年度の公社経営方針は、新たな役割を踏まえて、地域での文化・スポーツ・学習活動を結び合わせて相乗効果を生み出す「地域ネットワーク」形成を重視し、公社のもつ経営資源を最大限に活用することにより生き生きとした地域社会を築くことをめざすものとし、以下のように定める。

①あだち放課後子ども教室の開設及び運営支援に積極的に取り組む

区と連携し、区立小学校を拠点としたあだち放課後子ども教室の開設と運営支援を公社の新たな主要事業として位置づけ、財源・人材・情報活動等の経営資源を集中的に投入する。

平成21年度開設予定校は26校、平成22年度開設予定校は20校で、それまでに全小学校への導入を目指し支援していく。

②区民に文化・学習・スポーツの豊かな体験機会を提供する

公社の自主財源を投入し、あだち放課後子ども教室体験プログラムなど生涯学習の学習機会を提供していく。また、地域の団体、グループ等の事業をコーディネートすることを通じ、地域活動の支援と連携、人材育成等に寄与する。

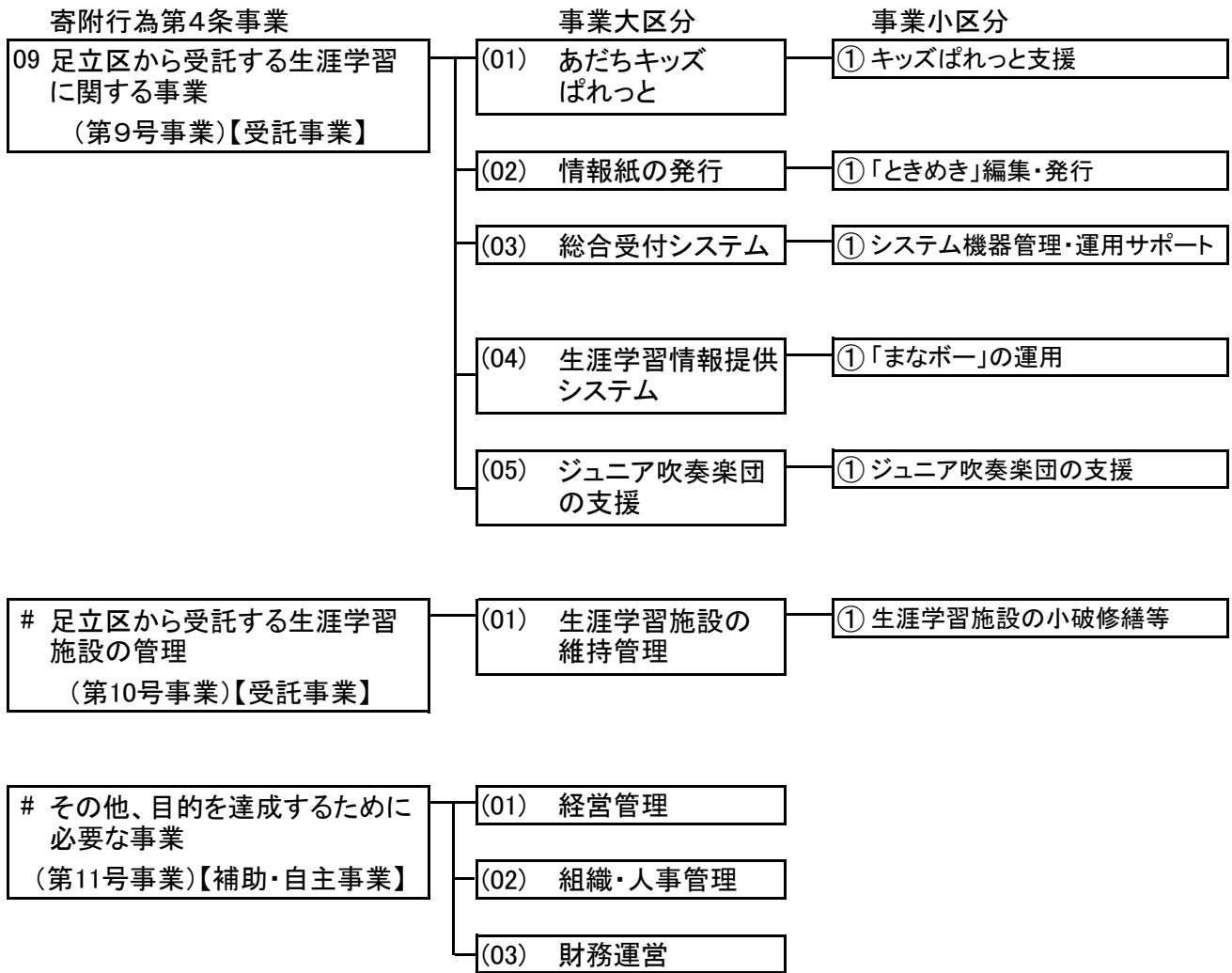
③新公益法人の認定を受け、新体制で法人を堅実に経営する

平成20年12月に新公益法人制度に関する法律が施行された。当公社は平成21年度中に新公益法人の認定を受けるための手続きを、全組織を挙げて取り組む。

その際、事業体系、事業目的、組織、財源配分等を精査し、将来の公社の経営基盤の強化を図る。

寄附行為別事業体系図





事業区分別事業報告

1.生涯学習講座等の学習機会の提供(第1号事業)

(1)体験プログラムの提供			予算額
			3,512 千円
目的	<p>子どもの安全・安心に集える居場所として、放課後の小学校施設を活用し、文化・芸術・スポーツ活動等の多様な体験の場を提供する。また、それらの体験を通じて、様々な分野への興味を深めるとともに、運動能力や体力を高めたり、新たな遊びの発想に活かすなど、子どもたちが、自ら学ぶ力を身につけさせていく。</p>		
21年度の予定			
内 容	予定時期	予定回数	予定場所
放課後子ども教室 読み語りキャラバン 朗読&ミュージック コンサート コーディネーショントレーニング レク・ゲーム&遊び体験 ほか	通年	50 回	各放課後子ども教室 開設校
21年度(H21.4.1~H21.9.30)実施内容			決算額
			221 千円
実施概要	<p>今年度は19・20年度に放課後子ども教室を開設した学校26校を対象とした。学校及び実行委員会、講師との調整、準備で2ヶ月間を要し、6月より実施した。</p> <p><読み語りキャラバン>区内で活動している読み語りキャラバン隊による大型紙芝居の読み語りや言葉遊び、狂言を活用した低学年向けの参加型プログラム</p> <p><ぱれっとコンサート>プロの演奏家による音楽をより身近に感じ、楽しむことを目的としたミニコンサート</p> <p><落語おもしろ塾>足立区出身の落語家による落語ワークショップ。参加型プログラムを導入し、伝統芸能に触れる機会を設ける</p>		
実施内容	延参加者数	実施回数	実施場所
放課後子ども教室			
読み語りキャラバン【7/16】	82 人	1 回	竹の塚小
ぱれっとコンサート【9/29】	150 人	1 回	弥生小
落語おもしろ塾【7/17】	57 人	1 回	高野小
コーディネートトレーニング【6/19、7/10、9/28】	159 人	3 回	梅二小・本木東小・千寿双葉小
レク&遊び体験 【6/24、7/16、9/30】	216 人	3 回	中川小・辰沼小・西伊興小
小計	664 人	9 回	

1.生涯学習講座等の学習機会の提供(第1号事業)

(2)文化イベント		予算額	
		30,474 千円	
目的	文化芸術の潤いのある心豊かな区民生活の実現を図るため、広範なジャンルにわたる芸術性の高い優れた舞台芸術作品の鑑賞機会を提供し、芸術と地域社会の出会いを創出する。また、廉価で安定的に提供するとともに、各種助成制度等を利用し、芸術性と収益性の両立を図る。		
21年度の予定			
内容	実施時期	実施回数	実施場所
寄席(小朝・小三治・志の輔・新春) コンサート(クラシック、ポップス、和太鼓、タンゴ、フラメンコ等) 演劇(ザ・ニュースペーパー) こども劇(劇団東少、劇団銀河鉄道)他	通年	25 回	西新井文化ホール
21年度(H21.4.1~H21.9.30)実施内容			決算額
			6,274 千円
実施概要	クラシック、古典芸能、演劇等広範なジャンルから、優れた舞台芸術作品の鑑賞機会を提供し、芸術と地域との出会いを創出した。 また、平均で8割近い発券率があり、区民のウオンツに的確に応えることができた。その結果、落語全3公演及び子ども劇はチケットが完売するなど、芸術性と収益性の両立も併せて実現できた。		
実施内容	延参加者数	実施回数	実施場所
コンサート (錦織健【6/14】、タンゴベストセレクション【6/28】、プリランテ【7/5】、ベンチャーズ【8/7】、壺式参之笑【8/26】、中島啓江【9/11】、東京交響楽団キッズコンサート【9/23】)	4,161 人	7 回	西新井文化ホール
こども劇 (こどものためのミュージカル白雪姫【5/31】)	886 人	1 回	西新井文化ホール
寄席 (春風亭小朝【4/19】、立川談春【7/17】、立川志の輔【9/1】)	2,707 人	3 回	西新井文化ホール
小計	7,754 人	11 回	

2.生涯学習に関する相談及び情報提供(第2号事業)

(1)学習情報の提供			予算額
			10,282 千円
目的	<p>公社ニュース「ときめき」特集号では、公社事業や区の生涯学習への取り組みへの区民の関心や理解を深めるために、公社や区の取り組みやイベントなど生涯学習に関する情報をわかりやすく発信する。公社ホームページでは、公社の概要や事業案内などの情報を発信し、公社を広くPRする。</p>		
21年度の予定			
内 容	実施時期	実施回数	実施場所
公社ニュース「ときめき」特集号の編集・発行 (公社事業特集・施設案内特集)	不定期	3 回	区内全戸配布他 (300,000部)
公社ホームページ・各施設ホームページによる 情報提供	毎月1回	12 回	
公社ホームページ・各施設ホームページの リニューアル	10月		
21年度(H21.4.1~H21.9.30)実施内容			決算額
			3,721 千円
実施概要	<p>公社の概要や事業案内などの情報を発信し、公社を広くPRするために、公社ホームページの更新を実施(月1回)している。また、公社ホームページのリニューアルに向け、メニューや画面展開、デザインなどの検討を行った(11月リニューアル予定)。</p>		
実 施 内 容	実施時期	実施回数	実施場所
公社ホームページ・各施設ホームページによる情 報提供	毎月1回	6 回	

3.生涯学習の啓発及び生涯学習活動に対する助成(第3号事業)

(1)生涯学習の啓発			予算額
			3,109 千円
目的	<p>芸術普及活動(アウトリーチ活動)を展開し、これまで文化芸術に触れる機会が少なかった区民に対して、様々な働きかけを行い、音楽や芸術や文化施設への興味を喚起する。文化芸術の無関心層を関心層・支持層へと移行させていくことにより、文化の薫り高い活力ある地域社会の形成を推進する。</p>		
21年度の予定			
内 容	実施時期	実施回数	実施場所
エントランスコンサート	通年	6 回	西新井文化ホール ほか
バックステージツアー	通年	6 回	
アウトリーチコンサート	通年	4 回	
サテライトコンサート		2 回	
スチューデントプロデュースコンサート	3月	1 回	
スチューデントプロデュースコンサートミーティング	通年	50 回	
21年度(H21.4.1~H21.9.30)実施内容			決算額
			0 千円
実施概要	<p>45回を数えたエントランスコンサートは、平日午後の開催にも関わらず毎回200人前後の来場者があり、地域の文化芸術事業として確実に定着した。同時に行っているバックステージツアーでは、参加者から好評であり、ホール未体験層への啓発事業として効果を挙げている。</p> <p>郷土博物館のオープニング事業として依頼をうけ開催したサテライトコンサートは、多くの来場者があり、好評を得た。</p> <p>スチューデントプロデュースコンサートは、今回も東京藝大との連携により充実した内容の企画会議が行われている。地域創造からの助成金や地域の企業主にも協力をいただくなど、外部からの評価が高い。</p>		
実 施 内 容	延参加者数	実施回数	実施場所
エントランスコンサート 他	1,145 人	30 回	西新井文化ホール 入り口前他

4.生涯学習の推進に必要な人材の育成及び確保(第4号事業)

(1)-①地域活動人材育成(放課後子ども教室リーダー等地域人材育成)		予算額	
		4,956 千円	
目的	「放課後子ども教室事業」を円滑に運営するため、スタッフに応急処置やレクリエーションの方法など、より専門的な知識、技術をスキルアップさせる研修の場を提供する。さらに事業の充実を図るため、「放課後子ども教室サポーター」として地域の人材を発掘し、活動に必要な学習プログラムを学ぶ機会を提供し、事業をサポートする人材を育成する。		
21年度の予定			
内容	実施時期	実施回数	実施場所
放課後子ども教室スタッフスキルアップ研修 (応急処置、パソコン活用等)	通年	30 回	地域学習センター、 各学校等
コーディネーショントレーニング指導者養成	9月	1 回	
放課後子ども教室サポーター養成講座	3月	1 回	
21年度(H21.4.1~H21.9.30)実施内容			決算額
			497 千円
実施概要	<p><スキルアップ研修>安全管理スタッフや実行委員を対象に、子どもとその保護者の現状、遊びと文化、子どもの発達・性格・心理などを解説し、子どもとのコミュニケーションの取り方を学ぶ</p> <p><全体研修会>あだち放課後子ども教室の意義・必要性、学校や地域・家庭への影響などを専門家の講演、現場のスタッフの報告を聞きながら意見交換をおこなう。</p>		
実施内容	延参加者数	実施回数	実施場所
スキルアップ研修(ブロック別)「子どもを伸ばす大人の接し方」【6/2、6/5、6/6、6/16、7/14、7/21、7/24】	241 人	7 回	生涯学習センター ほか
全体研修会【8/21】	253 人	1 回	庁舎ホール
小計	494 人	8 回	

4.生涯学習の推進に必要な人材の育成及び確保(第4号事業)

(1)-②地域活動人材育成(ホールサポーターズクラブ育成)			予算額
			20 千円
目的	文化芸術や文化施設に関心を持つ区民からボランティアを募り、地域からのホール文化事業のサポート活動や、実際に文化事業を共に運営し、区民の自己実現を図る。さらに地域ホールを支持する区民を増やし、文化芸術の潤いのある心豊かな区民生活の実現と、文化芸術の薫り高い活力ある地域社会の形成を推進する。		
21年度の予定			
内容	実施時期	実施回数	実施場所
ホールサポーターによる下記活動 地域での文化事業宣伝活動 文化事業運営協力 文化事業企画提案 ホールサポーター会議、研修	通年		西新井文化ホール ほか
21年度(H21.4.1~H21.9.30)実施内容			決算額
			12 千円
実施概要	地域での文化事業宣伝活動(チラシ配布・ポスター掲出)のほか、公演当日の従事協力、事前の準備作業(チラシ折込)に積極的に協力をいただいている。 また、サポーター相互のコミュニケーションも良好で、会議では足立区の文化芸術について高い見識の意見が多い。		
実施内容	延参加者数	実施回数	実施場所
公演運営協力【通年】	64 人	16 回	西新井文化ホール
準備作業協力(チラシ折込)【通年】	60 人	12 回	西新井文化ホール
小計	124 人	28 回	

5.生涯学習に関する教材の収集及び提供(第5号事業)

(1)教材の提供		予算額	
		673 千円	
目的	<p>放課後子ども教室の運営に携わる安全管理員等が日常業務に必要な危機管理、安全対策などの知識を体系的にまとめたハンドブックを作成し、基礎研修及びステップアップ研修に活用するとともに、放課後子ども教室開設校に常備する。</p> <p>また、放送大学視聴学習室を利用する区民のために、科学・文化等の一般教養に関する視聴覚資料を購入し提供する。</p>		
21年度の予定			
内容	実施時期		
研修ハンドブックの作成 視聴覚資料の購入	上半期 上半期		
21年度(H21.4.1~H21.9.30)実施内容		決算額	
		0 千円	
実施概要	<p><研修ハンドブックの作成>放課後子ども教室の運営に必要な危機管理、安全対策等の知識についてまとめたハンドブックの見直し作業を実施した。</p> <p><視聴覚資料の購入>放送大学視聴学習室を利用する区民のために、科学・文化等の一般教養に関する視聴覚資料の選定作業を行った。</p>		
実施内容	実施時期		
研修ハンドブック見直し作業 視聴覚資料選定作業	4~9月 4~9月		

6.生涯学習に関する調査及び研究(第6号事業)

(1)調査・研究			予算額
			300 千円
目的	コーディネーショントレーニングの効果を把握するため、区教育委員会が区立小学校全児童に実施する体力測定データを基に、トレーニング実施前・実施後の比較研究を区教育委員会と連携して行う。調査は区立小学校を抽出し、体育授業や放課後子ども教室プログラムでトレーニングを実施しての効果測定とともに、非実施(クラス)群も抽出し、実施群と非実施群との比較研究も行う。		
21年度の予定			
内 容	実施時期	実施回数	実施場所
コーディネーショントレーニング(第1期)	5～9月	20 回	実施校
コーディネーショントレーニング(第2期)	10～2月	20 回	実施校
体力測定	5、7、9月	3 回	実施校
体力測定	10、12、1月	3 回	非実施校
21年度(H21.4.1～H21.9.30)実施内容			決算額
			0 千円
実施概要	コーディネーショントレーニング未実施校を選出し(本木小学校)、半年間にわたり2週間に1回(1組と2組を交互におこなう)、有資格者による指導をおこない、実施前と実施後の比較研究する。		
実 施 内 容	延参加者数	実施回数	実施場所
体力測定(20m走・立幅跳び・垂直跳び・プロアジリティ・反復横跳び)【9/17、9/24】	193 人	2 回	本木小学校

7.地域における生涯学習活動の支援(第7号事業)

(1)-①生涯学習活動支援(地域学習支援事業)			予算額
			1,756 千円
目的	<p>公社の事業ノウハウとネットワークを活用した事業コーディネートを通じて、区民が地域課題や現代的課題について主体的に考え学びあう機会を創出する。学習事業の企画立案は、地域団体や各種機関との連携を基本に行い、区民参画による学習活動を推進していく。</p> <p>さらに、社会情勢に即した課題や事業形態の研究、放課後子ども教室体験学習プログラムの新規開発を行い、地域学習の支援を充実していく。</p>		
21年度の予定			
内容	実施時期	実施回数	実施場所
地域団体・各種機関との連携講座	通年	10 回	区内各所
プログラム開発事業	通年	2 回	
地域学習コーディネート	通年		
21年度(H21.4.1~H21.9.30)実施内容			決算額
			119 千円
実施概要	<p>①ACOT(足立コーディネーショントレーニング研究会)との連携による親子コーディネーショントレーニング教室 ACOT(足立コーディネーショントレーニング研究会)との連携による指導者のスキルアップ研修会</p> <p>②本木地区の小・中学校PTA連携事業「地球環境を考える」に(環境落語ができる)講師を紹介した。</p>		
実施内容	延参加者数	実施回数	実施場所
親子で遊ぼう!(コーディネーショントレーニング編)【5/9、5/16、5/23、5/30、6/6、6/13、6/20、6/27、7/4、7/11】	398 人	10 回	上沼田小学校
スキルアップ研修会【5/29、6/26、7/24、8/27、9/5、9/24】	107 人	7 回	東京未来大学・ 上沼田小学校
地域学習コーディネート【随時】	-	1 回	第六中学校
小計	107 人	18 回	

7.地域における生涯学習活動の支援(第7号事業)

(1)-②生涯学習活動支援(文化団体支援等)			予算額
			64 千円
目的	<p>区民との協働により文化芸術の薫り高いまちづくりを推進するため、自主的な文化活動を行う区民や地域の芸術家及び団体とパートナーシップを持って、共に新しい区民文化を創造していく。</p> <p>また、地域からの企画相談窓口を設置し、地域の芸術家を活用することにより文化振興に寄与する。</p>		
21年度の予定			
内容	実施時期	実施回数	実施場所
足立吹奏楽団定期演奏会	5月・2月	2 回	西新井文化ホール
足立区民合唱団定期演奏会	8月・1月	2 回	
足立シティオーケストラ定期演奏会	9月・3月	2 回	
常笑気流歌劇団公演	8月	1 回	
21世紀ADACHI芸術文化共同制作プロジェクト 歓喜の演(合唱12月・狂言2月)	通年		区内各所
イベントコーディネート	通年		
21年度(H21.4.1~H21.9.30)実施内容			決算額
			0 千円
実施概要	<p>各演奏会の共催を行い、運営面及び事業実施面での支援を行うとともに、エンタランスコンサートやイベントコーディネートなどの事業に各団体の人材を活用している。地域の演奏家が活動の可能性を広げることにより地域の文化向上が図られていく。</p> <p>イベントコーディネートでは六木住区センター、佐野区民事務所からの相談があり、紙切り、落語の企画をコーディネートした。この事業については実績とノウハウを持つ公社でなくては不可能な事業である。</p>		
実施内容	延参加者数	実施回数	実施場所
足立吹奏楽団定期演奏会【5/24】	668 人	1 回	西新井文化ホール
足立区民合唱団定期演奏会【8/23】	891 人	1 回	西新井文化ホール
足立シティオーケストラ定期演奏会【9/26】	687 人	1 回	西新井文化ホール
常笑気流歌劇団の公演【8/15・16】	685 人	2 回	西新井文化ホール
足立区音楽祭ときめきコンサート【9/30】	473 人	1 回	西新井文化ホール
イベントコーディネート【随時】	-	2 回	六木住区センター他
小計	3,404 人	8 回	

8.放送大学学園から受託する東京足立学習センターの業務及び管理(第8号事業)

(1)放送大学業務連携			予算額
			16,918 千円
目的	放送大学東京足立学習センターは、区民が身近で高等教育を受ける機会を提供するため誘致した施設である。生涯学習の推進を目的とする公社が同センターの総務業務及び図書室・視聴学習室の管理を受託するものである。公社職員が窓口業務を行なうとともに、図書室・視聴学習室を学生に限らず広く区民に開放し、身近で使いやすい学習施設を提供することで区民の学習機会の拡大を図る。		
21年度の予定			
内 容	実施時期	実施回数	実施場所
東京足立学習センターの事務局事務	通年		東京足立学習センター
図書室、視聴学習室の設備の維持管理	通年		
広報に関する事務	通年		
面接授業に関する事務	通年		
単位認定試験の実施に関する事務	通年		
21年度(H21.4.1~H21.9.30)実施内容			決算額
			8,834 千円
実施概要	放送大学東京足立学習センターの第1学期4月入学から、入学者を学部及び大学院の学生の受け入れを始め、面接事業及び単位認定認定試験実施のサポートを行ってきた。また図書室・視聴学習室の管理を行い学生に限らず広く区民に開放し、身近で使いやすい学習施設を提供し区民の学習機会の拡大を図ってきた。		
実 施 内 容	実施時期	実施回数	実施場所
東京足立学習センターの事務局事務	4~9月	年間随時	東京足立学習センター
図書室、視聴学習室の設備の維持管理	4~9月	年間随時	
広報に関する事務	4~9月	年間随時	
面接授業に関する事務	4~9月	年間随時	
単位認定試験の実施に関する事務	4~9月	年間随時	

9.足立区から受託する生涯学習に関する事業(第9号事業)

(1)放課後子ども教室		予算額	
		245,856 千円	
目的	<p>区が推進する「放課後子ども教室」事業は、放課後の子どもの安全で安心な居場所を提供するものである。また、子ども同士の遊びや保護者を含む地域の交流・体験を通じて、心の豊かさや生きる力を育むことを目的としている。公社は、地域ネットワーク型生涯学習の推進を役割としており、放課後子ども教室支援事業を受託して地域による事業運営を支援するとともに、公社資源を投入して子どもたちに体験学習等の機会を提供し、相乗効果により「放課後子ども教室」事業の目的と公社の使命との同時達成を図る。</p>		
21年度の予定			
内容	実施時期	実施回数	実施場所
放課後子ども教室の新規開設	通年	2回	区内各小学校
既設放課後子ども教室への支援	通年		区内各小学校
安全管理講習会の実施	通年		区内各小学校
運営委員会支援	9月、2月		生涯学習センター
21年度(H21.4.1~H21.9.30)実施内容			決算額
			64,117 千円
実施概要	<p><新規開設・運営支援>新規開設17校に対し、事業説明や合意形成、学校との調整や物品の手配など、開設に関わる準備を行った。また開設後は、既設の26校とともに、謝金の支払い事務や会議資料の作成、現場への巡回など、円滑に運営するための支援を行っている。</p> <p><安全管理講習会>フォロー研修の位置づけとしてAEDの基礎知識やケガの対応など、応急処置に特化した講習会を実施。同内容で開設前の必修講習会としても実施している。</p> <p><運営委員会>各校の実行委員長やスタッフリーダー、関係団体の代表者などを集め、今年度の取り組み参加状況を報告し、後半は分散会を行い、各校の状況報告や運営上の課題に対する意見交換など、グループ討議を行った。</p>		
実施内容	延参加者数	実施回数	実施場所
新規開設校【随時】	-	17校	区内各小学校
開設前安全管理講習会(応急処置)【5/25、5/27、6/3、6/4、6/5、6/25、8/24、9/1、9/8、9/16、9/17、9/25、9/25、9/30】	200人	14校	区内各小学校
安全管理フォロー研修(応急処置)【5/27、5/28、6/4、6/8、6/18、6/19、6/24、6/30、7/1、7/2、7/10、7/15、8/4、8/26、8/27、9/5、9/16、9/18】	250人	18校	区内各小学校
運営委員会【7/21】	66人	1回	生涯学習センター
小計	516人	50	

9.足立区から受託する生涯学習に関する事業(第9号事業)

(2)情報紙の発行		予算額	
		54,548 千円	
目的	<p>公社ニュース「ときめき」の発行事業を区から受託して、区民の学びのきっかけづくりと学習活動の継続のために、公社事業や地域学習センター主催の事業、サークル案内など、区内で実施されている生涯学習情報を収集し、紙面をとおして効果的に全区民に生涯学習情報を提供していく。</p>		
21年度の予定			
内容	実施時期	実施回数	実施場所
公社ニュース「ときめき」の編集・発行	毎月1回	12回	区内全戸配布他 (300,000部)
21年度(H21.4.1~H21.9.30)実施内容			決算額
			20,469 千円
実施概要	<p>区の生涯学習情報として、公社情報(文化事業)・指定管理者事業(趣味教養・スポーツ講座など)・まなび伝言板(有料広告)を毎月、1日号として、区内全域に各戸配布を行っている。</p>		
実施内容	実施時期	実施回数	実施場所
公社ニュース「ときめき」編集・発行	毎月1回	6回	区内全戸配布他 (約300,000部/1回)

9.足立区から受託する生涯学習に関する事業(第9号事業)

(3)総合受付システム			予算額
			97,238 千円
目的	区では生涯学習センター、地域学習センター、総合スポーツセンター、屋内プール等の各受付窓口をネットワークで結び、利用者の利便性を高めている。公社は、この予約システムのインフラ、PC等の機器の管理及び各受付窓口での利用情報の案内や学習室・体育館等の施設予約及び講座受付の運用サポートを受託する。		
21年度の予定			
内容	実施時期	実施回数	実施場所
屋内受付システム 機器の管理(消耗品含む) アプリケーション運用サポート 屋外受付システム チケット販売管理・運用	通年		
21年度(H21.4.1~H21.9.30)実施内容			決算額
			27,561 千円
実施概要	区から受託している予約システムのインフラ、PC等の機器の管理及び各受付窓口での利用情報の案内や学習室・体育館等の施設予約及び講座受付の運用サポートを実施している。		
実施内容	実施時期	実施回数	実施場所
屋内受付システム 機器の管理(消耗品含む) アプリケーション運用サポート 屋外受付システム チケット販売管理・運用	通年		

9.足立区から受託する生涯学習に関する事業(第9号事業)

(4)生涯学習情報提供システム			予算額
			6,504 千円
目的	生涯学習に関する区内の各種情報(講座・施設・指導者・グループ等)をインターネット上で検索できる「生涯学習情報提供システム」の運用を受託する。区民が求める情報及び区民の関心や理解を深める特集を企画・公開し、区民の生涯学習への取り組みを推進する。		
21年度の予定			
内 容	実施時期	実施回数	実施場所
生涯学習情報提供システム「まなボー☆」企画更新 (特集3回含む)	毎月2回	24 回	
21年度(H21.4.1~H21.9.30)実施内容			決算額
			2,655 千円
実施概要	区から受託している生涯学習情報提供システム「まなボー☆」の更新を月2回実施している。また、夏休みに子どもが参加できる講座やイベントの特集を公開し、自由研究対策や生涯学習講座やイベントに子どものみや親子で参加しやすくなるよう情報提供した。		
実 施 内 容	実施時期	実施回数	実施場所
生涯学習情報提供システム「まなボー☆」企画更新	毎月2回	12 回	

9.足立区から受託する生涯学習に関する事業(第9号事業)

(5)ジュニア吹奏楽団の支援			予算額
			4,824 千円
目的	<p>足立区の音楽文化向上を図り、生涯にわたり音楽を愛好する情操豊かな児童を育成するジュニア吹奏楽団の支援事業を受託する。</p> <p>公社は、団体行動を通じ参加児童の健全育成をはかるとともに、定期演奏会をはじめ、区内の各イベント等への出演を調整し、地域への音楽普及活動、音楽文化の裾野の拡大に貢献する。</p>		
21年度の予定			
内容	実施時期	実施回数	実施場所
<p>楽団及び楽団友の会運営支援、演奏活動支援、自主運営の促進。</p> <p>指導者謝礼補助</p> <p>楽器等備品購入</p> <p>楽譜等消耗品購入</p> <p>通信運搬費補助</p>	通年		<p>島根小(練習)</p> <p>西新井文化ホール(定期演奏会)</p> <p>その他区内での派遣演奏会場</p>
21年度(H21.4.1~H21.9.30)実施内容			決算額
			1,842 千円
実施概要	<p>楽団及び楽団友の会運営支援、演奏活動支援、自主運営の促進。</p> <p>指導者謝礼補助</p> <p>楽器等備品購入</p> <p>楽譜等消耗品購入</p> <p>通信運搬費補助</p> <p>派遣演奏として、区役所で行われるアトリウムコンサートに出演した。</p>		
実施内容	延参加者数	実施回数	実施場所
<p>楽団及び楽団友の会運営支援、演奏活動支援、自主運営の促進。【随時】</p> <p>指導者謝礼補助</p> <p>楽器等備品購入</p> <p>楽譜等消耗品購入</p> <p>通信運搬費補助</p>	2,142 人	42 回	島根小(練習)
派遣演奏【7/24】	393 人	1 回	庁舎ホール
小計	2,142 人	42 回	

10.足立区から受託する生涯学習施設の管理(第10号事業)

(1)生涯学習施設の維持管理			予算額
			84,063 千円
目的	<p>これまで公社が区の生涯学習施設の管理を行い、各施設に関する知識を蓄積・保有してきた。その知識を生かして公社が小破修繕を受託することにより、施設・備品等の故障、破損の修繕を公正かつ効率的な手続きで速やかに行い、施設利用者の利便と安全を確保する。</p>		
21年度の予定			
内 容	実施時期	実施回数	実施場所
小破修繕 備品修繕 予防保全による工事	随時		各生涯学習施設
21年度(H21.4.1～H21.9.30)実施内容			決算額
			29,644 千円
実施概要	<p>生涯学習センターのエスカレータ修理433,650円他、足立区内生涯学習施設の設備・備品の修繕や建築物の補修工事の緊急工事を速やかに効率良く実施し、施設利用者の利便や安全の確保を図った。</p>		
実 施 内 容	実施時期	実施回数	実施場所
小破修繕、備品修繕、予防保全による工事	随時	87 回	各生涯学習施設

11.その他、目的を達成するために必要な事業(第11号事業)

(1)経営管理、組織・人事管理、財務運営			予算額
			482,279 千円
目的	<p>足立区生涯学習振興公社を運営するため共通的庶務事務を実施する。</p> <p>具体的には、自主事業を継続的に実施するため、基本財産等の安全確実な資産運用による安定した財政基盤を構築する。</p> <p>また、公益法人制度の改正に伴い、適正な会計処理を行う。</p>		
21年度の予定			
内容	実施時期	実施回数	実施場所
職員等の給与システムの運営	通年		公社事務局
経理及び契約システムの運営	通年		
基本財産等の管理及び運用	通年		
理事会及び評議員会の開催	5、11、2月		
業務システム(財務会計等)の見直し	10月		
21年度(H21.4.1~H21.9.30)実施内容			決算額
			232,079 千円
実施概要	<p><職員等の給与システムの運営>適切な職員給与支給の実施を行った。</p> <p><経理及び契約システムの運営>適切な経理・契約のシステムの適切な執行管理を行った。</p> <p><基本財産の運用>上半期に償還された有価証券、信託受益権を資産管理運用要綱及び細則に則り預け替えをおこなった。</p> <p><理事会及び評議員会の開催>決算了承を受けるため5月定例開催を行う。また、6月には公益法人認定への移行申請決議のため開催した。</p> <p><業務システムの見直し>公益法人会計基準(平成20年12月改正)に準拠した財務会計システムの導入に向けてシステムの選定を実施した。</p>		
実施内容	実施時期	実施回数	実施場所
職員等の給与システムの運営	年間随時	年間随時	公社事務局
経理及び契約システムの運営	年間随時	年間随時	公社事務局
基本財産等の管理及び運用	年間随時	年間随時	公社事務局
理事会及び評議員会の開催	5月、6月	理事会4回 評議員会2回	公社事務局
業務システム(財務会計等)の見直し	4~9月	随時	公社事務局

公社概要 (平成21年9月30日現在)

公 社 名 財団法人足立区生涯学習振興公社
設 立 平成5年2月1日 (平成12年4月1日名称変更)
基本財産 15億円
代 表 者 理事長 鯨井 利昭
職 員 数 58名 (定数)
常勤36名 (派遣11名、固有25名)
再任用1名 非常勤21名
住 所 〒120-0034 東京都足立区千住五丁目13番5号 学びピア21
ホームページアドレス <http://www.kousya.jp/tokimeki/>

組織図 (平成21年9月30日現在)

